



しゅんこうしき 校舎完成の竣工式があります

京都府知事、府議会議長、教育委員長、教育長がお祝いに来校

季節外れに、「今日は寒いですね」という会話が交わされる日々が続きました。でも待ち焦がれたように、学校のまわりでは「田植え」を終えた風景も見られ、例年のような6月になればと願っています。

先日の報道では、警報（大雨、洪水、暴風等）の発表が、広い地域から市町村ごとに行い、警報の信頼性を高めていくという主旨の内容でした。本校においては改めて、異常気象やこれから梅雨などを迎えるにあたっての気象警報への対応について「お知らせ」を配布しますので、御理解と御協力をお願いします。

また、昨年度の今頃は、インフルエンザの流行で御家庭や学校では大わらわの事態が長期にわたって続きました。これまでのところ流行の兆しの報告は受けていません。油断大敵です。手洗い・うがいをしっかりしていきましょう。

校舎ができたお祝いの式（竣工式）が、来週の6月9日（水）14時よりとりおこなわれます。式には山田京都府知事様、林田府議会議長様をはじめ、80名近い来賓がお祝いに来校されます。開校入学式と違い、児童生徒の参加については代表のみとし、新しくできた校舎でしっかり学習している様子を、式の後に参観していただくようにしました。このように八幡支援学校に期待していただき、お祝いにかけていただくことを感謝しております。

今、高等部では作業学習で、「竹」を使って、文庫本を読んでいる時に挟んでおく「しおり」を、お祝いに来ていただいた方々のお礼の意をこめた記念品として制作しています。

各学部の授業も、ホームルーム教室だけでなく豊かな教育環境をいかした学習がはじまっています。小学部では、遊びの広場の「築山」で、年度末に納品された備品等が入っていた段ボールを使って、ダイナミックな「坂すべり」が行われたり、プレイルームではトランポリン、吊り遊具を使ってからだ全体に働きかける学習がされています。

中学部のクラスでは、校内の地図づくりから、学校の周囲を探検して周辺地図の製作に取りかかっているなど、外に広がる学習が展開されていました。

高等部の給食は、みんなが食堂で食べています。卒業後、企業や福祉事業所等での食事の仕方につながっていくと思っています。クラスやコース毎に準備をしていますが、就労デザインコースでは生徒が準備した物を、トレーにバイキング形式で取っていく工夫がされました。少し大人になったような雰囲気です。

部活動も始まりました。先週参観したのですが40名を超える希望者が、4つの種類のクラブに分かれて、日常の授業とは違った表情で楽しんでいる姿が印象的でした。

校長 山田 和孝

